

審議会等会議録【要約版 ver】

審議会等の名称	第2回文化振興ビジョン検討懇話会
開催日時	令和元年5月29日（水曜日）15:00～17:20
開催場所	山口市役所会議室棟2階A会議室
出席者	前田哲男（会長）、松原清（副会長）、中野良寿（専門部会長）、津田隆、大和保男、広田早苗、鈴木啓二郎、河野康志、斎藤郁夫、中原豊、山本有希、磯村勇、時乗順一郎、松前了嗣（敬称省略、順不同）（14名）
欠席者	大庭達敏、足立明男、米本太郎（敬称省略、順不同）（3名）
事務局	交流創造部：有田部長、古賀参事 文化交流課：上野課長、神足主幹、竹内主幹、二段副主幹、半田主事（7人） 山口市文化振興財団事務局長：堀由紀江（1人）
議題	・山口市文化振興ビジョン骨子案について ・専門部会からの報告について
内容	次第に基づき以下のとおり進められた。 1. 部長挨拶 2. 事務局挨拶 3. 役員交替の挨拶 4. 会長挨拶 <説明> 5 前回第1回検討懇話会での質問に対する回答、第1次文化振興ビジョンプロジェクト事業における成果について 配布資料（参考資料）について事務局からの説明 <委員> ー各委員とも質問等なしー  <審議> 6 山口市文化振興ビジョン骨子案について 配布資料、資料1・資料2「山口市文化振興ビジョン骨子案」について事務局から説明の後、会長の進行により審議に入った。  <会長> 事務局から説明があったが、何か御質問等があればお願いします。  <委員> せっかく呼んでいただいたので、一言申し上げたいと思う。具体的な

取組だが、資料2第3章具体的な取組み(1)文化芸術活動の環境づくり一番上の○市民の自主的な文化活動の推進・支援について、自分は今、吉敷地域の地域づくり協議会の文化推進協議会の仕事をしていて感じていることがあるため、聞いていただきたい。吉敷の文化振興協議会の目標というか使命は、吉敷で日々生活している人々が、吉敷は文化・芸術を大事にするまちで、住んでいてよかったと実感できるようなまちになってほしいということ。

吉敷というまちでなら一緒になってやっていけると思えるような地域づくりができれば良いと仲間内で話している。

ではどのようにするかというと、活動していて思うことは、もう少し吉敷以外の山口市という行政体が努力しているところに力を貸したり、出向いて話を聞くなどの姿勢を見せてほしい。

文化の振興を推進する仕組みがないと、自分達が頑張っても市という行政の力がなければ吉敷のような小さな組織のみだと馬力が足りないと思う。

是非ここで具体的な取組みの中に文化活動の推進とあるので、推進する仕組みを具体的に作ろうではないかというところまで行ってほしい。

例えば市内には、地域づくり協議会がいくつかあり、市役所の職員の中には、地域づくり協議会と一緒に業務を行っている人もいる。その職員はいろんな地域の実情が分かっており、この地域ではこんな文化活動をしているなどの実情や山口市内の文化活動の現状が頭に入っている。2～3年経てば職員は異動するが、もう少し地域に対して市が手助けをしたら良いのではと考えている人もいるかもしれない。

そのような人たちを上手く利用しながら、文化活動を推進するという仕組みを拵(こしら)えるということを書き込んだらどうかと考える。

先ほど、具体的な取組みをしてコミュニティの形成を目指すという話が事務局からあったと思うが、推進体制というか組織があったとしたら、絶えず日々暮らしているあの地域の人が何をほっしていて何を考えているのかということが分かる。

協議会と一緒に仕事をした市の職員は随分いろいろなことが分かっているなと思っているので、何かそういう推進組織の体制づくりを提案したい。いずれコミュニティの形成を目指すにしても、エンジンになるものが出来るのではないかと考えている。

また、もう1つ提案があって、具体的な取組みの中に県立美術館、博物館、大学等と連携した学習機会の充実と具体的な施設の名前が出ているが、出来たら図書館を入れてほしい。

図書館の持っている文化を動かす力を市民にPRして知ってもらうことも大事である。

県立美術館、博物館、大学等と連携した学習機会の充実とあって、確かに県立美術館、博物館も小学生を対象とした出張授業が出来るわけだが、図書館もそのようなことも含めいろいろな機能を持っており、文化施設からは何故か図書館が抜け落ちる傾向があるため、図書館をもう少し本気で考えなければならないと思う。

<会長>

今のお話にあった文化活動を推進する仕組みづくりについては、第4章のプロジェクト事業、第5章の推進にあたってというところに関係しそうだが、専門部会の中でそのような話はしているか。していれば後ほど部会の報告の時に紹介してほしいが。

<専門部会長>

どちらかという、今のお話は、市民の自主的な1つのモチベーションからだんだんコミュニティがより大きくなるということだと思うが、そのようなことは具体的には話合っていない。

<会長>

今の件については、第4章のプロジェクト事業、第5章の推進にあたってというところに該当していると思うが、事務局から何かあるか。

<事務局>

市民の自主的な文化 推進 仕組みづくり (1)文化芸術活動の環境づくりの一番下〇あらゆる人が文化につながる場づくりとあって、併せて場作り、仕組みづくりを市だけで考えることはなかなか難しいため、実際に市内で文化活動している関係団体と検討していき、検討したことを出来たら計画にも盛り込んでいきたい。また、図書館については追加をさせていただきたい。

<会長>

他の御質問はあるか。

<委員>

資料や話を聞いていると、芸術やアートという言葉が気を使ったように入っているが、文化とは幅が広いもの。逆に芸術とは特化したもので、文化と芸術がどれだけマッチングできるかが大事である。

先ほどの話にも出たが、現在山口市芸術家育成支援事業は第10回を終え、運営協議会にて今後の運営をどうするかを検討しているところ。

芸術とは文化の中の1ジャンルだと思うが、芸術は制作者がいて、制作者は創造するなど大変な作業をしているわけで、発想において文化がどうのこうののではなく、身を削って発想を出しているの、話し合うにしてもそれなりのプライドや個性がある。そうした中、これまでの山口市芸術家育成支援事業はなかなかの効果を発揮し、次はどうするかという話になっている。文化と芸術のマッチングが一番大事だと考えてい

る。

<事務局>

確かにアーティストと市民が触れ合う機会は大事だと考えている。そのあたりは今回の資料にも盛り込んでいる。

<会長>

具体的な取組みとなると第4章に関わりがあると思うので、プロジェクト事業について専門部会長より報告をお願いしたい。

<審議>

7 専門部会からの報告について

<専門部会長>

今まで部会で協議した内容は、議事録として皆様に共有されていると思うので、疑問が生じた場合は、議事録を御確認いただきたい。

①時や資源を生かした文化の融合プロジェクト（いかす）

- いかす1：「時」 資料3のとおり説明（※以下同様に説明）
- いかす2：「地域資源」
- いかす3：「施設」

②まちの未来を創るひとづくりプロジェクト（はぐくむ）

- はぐくむ1：「次代を創造する人づくり」
- はぐくむ2：「やまぐちの文化を支える人づくり」
- はぐくむ3：「あらゆる人々が文化につながる場づくり」

③やまぐち価値創造プロジェクト（うみだす）

- うみだす1：「文化創造のプラットフォーム」
- うみだす2：「大内文化によるまちのブランディング」
- うみだす3：「文学者の研究と本市の個性の創造」
- うみだす4：「山口県央連携都市圏域による取り組みの推進」

事務局から、山口県央連携都市圏域について説明してもらえるか。

<事務局>

山口県央連携都市圏域とは、山口市、宇部市、山陽小野田市、美祢市、萩市、防府市、津和野町の7市町で連携した取組みを行っていかうというものである。現在は各市町のイベント等の一体的な情報発信を行っている。来年、再来年と山口ゆめ回廊博覧会という、7市町の観光地、施設を楽しんでいただく周遊型博覧会を計画している。来年はプレ博覧会で7～9月に開催、再来年は本番で7～12月に開催を予定している

ころである。

<専門部会長>

●うみだす5：「交流と賑わいの創造」 資料3のとおり説明（※以下同様に説明）

●うみだす6：「創造活動や暮らしやすさの情報発信の強化」 以上

<会長>

専門部会より説明があったが、御意見がある方は挙手をお願いしたい。

<委員>

骨子案等全般に渡って、山口市の現状がよく分析されていると感じた。しかしながら、これからの文化振興ビジョンのことであるので、押さえておいてほしいことがある。

まず、山口市の文化が現在の姿になった理由を最初の段階に入れてほしい。

皆さんご存知だと思うが、宇部の百貨店が閉店した。その後、宇部商工会議所が百貨店の買い取りを検討されたが否決され、昨日の段階で宇部市民の有志が1週間で約1億4千万円の寄附を集め宇部市に寄附し、それをもとに市が百貨店を買い取ることとなった。

山口市と宇部市はまちの形が全く違うが、山口市においては1週間で1億円の寄附が集まることはまずないと思う。産業構造が違うし山口市というまちが出来てきた歴史も違う。企業城下町ではないことが主な原因だと思うが、現在の山口市の産業構造は第3次産業が9割を占めており就業人口も同じくらいであって、中でも行政・教職員等の関係職が就業人口の1割強占めており、これが山口市の一大産業であって、今までの山口市の歴史を作ってきたと考えて良い。

一方他の都市は、基幹となる産業があって、基幹産業の景気が良ければまちが活況し、悪ければまちが沈む。それが文化度にも表れていると思っている。企業城下町でない山口市なりのまちの歴史があり、その中で育まれてきた山口市の文化の流れがあってこそだと思うので、逆に言えばこの流れを壊してはいけないと思う。変なまちの開発はしないなど、今の山口市の勢いを止めてはいけない。

最近になって山口市の位置づけは、より注目を集めている。現在県内において山口市の人口は2番目だが、20～30年経つと周りの落ち込みが非常に大きいので、山口市の人口が1番になるという推定値が出ている。山口市が勢いを保っているからこそ人口が維持できる。人口が維持できてまちの勢いがあるからこそ文化にも力が入られる。これらは相関すると考えている。この流れを止めてはいけない。そういうことが

あってこそその文化振興ビジョンなのではないかと思った。

もう1つは、平成合併前の旧山口市・旧小郡町のことであり、まちの作り方に違いはあるが、現在は新山口駅を中心としたメッセが出来る開発と、旧山口市中心部の文化の高さがお互い刺激しあって、山口がより豊かなまちへと進む大きな要素となると考えている。2つが違う形で発展していくからこそ山口が良くなると思っている。

その中で、現在のビジョン案にメッセ施設が入っていないが、2年後にメッセ施設は完成する。特徴ある施設で、県内で1番優れたメッセ施設となるため相当な集客力になると思う。この施設の活用についても文化の流れに大きなインパクトを与えると考えるため、活用についてビジョンに入れてほしい。また、山口市市民会館の耐用年数が来ようとしている。市民会館は小郡のメッセ施設、YCAMと施設の内容が違う。山口市市民会館の建替え等も踏まえたことを示していかなければならない。

<会長>

他に御意見等ある方は挙手をお願いしたい。後日事務局へ伝えていただいても良いが、この場で御意見いただけたらありがたい。

<事務局>

今回の懇話会を7月下旬に予定しているが、今回の説明でここが足りない、ここを付け足してほしい等あったら、出来ればそれぞれの立場でこの場で意見を頂戴したいと考えている。作成を進める上で、具体的な取組みの中で足りないものがあれば意見をいただきたい。

<委員>

最初参考資料のアンケートのところで、興味を持ったのは、住みよさについてはやはり中心部が上位を占めているが、「山口市の文化・芸術、歴史に誇りや愛着を持っているか」の間に、阿東地域を含む北部が上位を占めており、この1年間で文化・芸術に関する活動をしたかどうかについても阿東などの北部が多いことは、何かのヒントになると思った。

例えば、地域にある神社や、伝統芸能がその地域にかなり根付いているのかと思ったが、これを読み解くにはもう少し情報が必要だと思う。その辺から、生活の中に文化がどれだけ浸透しているかが分かるのではないかと思った。

<事務局>

お見込みのとおりかと思う。柚野であれば「山口市の文化・芸術、歴史に誇りや愛着を持っているか」の間に、アンケートに回答された方は100%持っているという結果が出ており、他の設問にも100%という結果が出ていて、お住まいの歴史・文化資源等に愛着や誇りを持っている人がアンケートに回答されているからだと思うが、理由は、その地域の方に聞いてみないと具体的なところは分からないが、委員がおっしゃっ

た内容も1つの要因ではないかと思う。また、確認して回答する。

<会長>

アンケートは回収率が関係する。多くの方が回答した場合の割合は意味があるが、少ない場合は意味があまりないと思うので、確認してほしい。さて、今事務局からあがっているプロジェクト事業案を、今後全て行うことは市の財政状況では難しく、選択と集中ということが起こると考えるが、その辺を市はどのように考えているのか。

<事務局>

市としては、財政的などころでは御存知のとおり、新山口駅等投資的  
事業が続いていくため、財政運営についても厳しいものになっていくと  
考えている。財政面も考慮しながら、計画を実施していくのかどうか等  
皆様と一緒に考えていきたい。

<委員>

4回にわたる議論をまとめていただきありがたい。さて、理解の難し  
い表現があったためお伺いしたい。

P6③やまぐち価値創造プロジェクト（うみだす）で、どうしても自  
分の分野が気になってしまうが、冒頭から4行目「さらに深化・発展さ  
せた取り組みを進め」とあり、どのようなものを深化・発展させていく  
のかというと、「大内文化」や「明治維新」を中心とする歴史的資源と  
あり、確かにこれらはコンテンツだと思うが、次に「中原中也」を中心  
とする文学とあって、これは文学作品なのか文学者なのか、それともジ  
ャナルとしての文学なのか、その辺がよく分からない。

また、「山口情報芸術センター」をプラットフォームとする新しい価  
値の創造とあって、これら3者が並列の関係でさらに深化・発展させる  
ような文章になると思うが、最初の歴史的資源はコンテンツだと考える  
が、文学は曖昧で、さらにプラットフォームの新しい価値の創造はまさ  
にプロジェクトのテーマそのものであり、これら3者が並列の関係にな  
っていることは大変違和感がある。そのあたり表現の問題だけであれば  
良いのだが。YCAMは理解できるが、大内文化と文学者についてはや  
や違和感がある。

例えば、P9のうみだす3：「文学者の研究と本市の個性の創造」で、  
2項目目で中原中也賞の実施、「中也と中也の詩の世界」の研究と創造  
とあって、研究は日頃から行っておりよく分かるのだが、創造について  
中也と中也の詩の世界はすでにあるもので、どのようにして創造するの  
かよく分からない。いろいろな場所で、創造、創出と使われているが、  
これらをうまく飲み込めない。表現の問題だけなら修正できるが、概念  
的に委員の皆様の中で一致しているのか・・・これだけを読むとよく分  
からないため、整理する必要があると考える。

<会長>

資料2は箇条書きであって、箇条書きのものが文章化されたときに、文章がおかしいなど感じるかもしれない。次回第3回では、箇条書き部分が全部文章となって示されるということによろしいか。

<事務局>

次回お示しする内容は中間案であり、先ほど事務局より成果について説明したが、委員からもあったように、成果の裏には現状と課題が出てくるためそこを盛り込むこと。また、今までの山口市の文化の流れや背景なども盛り込んで、具体的な取組みのところも説明できるような文章にして皆様にもお示ししたい。

<会長>

その時には創造という言葉の使われ方にも気をつけていただきたい。また、前回の『文化の薫るまち創造ビジョン』のP26に新たな文化創造のイメージで、大内文化、YCAM、中原中也記念館という図が出てきており、最初の質問はこれにのっとって出てきているが、この図の扱いについて御意見をお持ちの方はいるかと思う。事務局に意見を伝える形でよろしいか。

<事務局>

この場でお寄せいただけなかった御意見については、次回7月下旬に予定している懇話会の資料作りのため、6月7日（金）までに御意見をお寄せいただけたらと思う。

<専門部会長>

先ほどの委員の御意見について、自分もP26の図については若干違和感があった。プロジェクトについて、実はお示ししたP6のところについては、この図を押し込んだ感じはある。図であれば説明できるが、これらを文章にすることは難しい。実は、中原中也記念館とYCAMとの関連について、委員はどのようにお考えなのか気になっていた。先ほどの御意見で、記念館とYCAMの関連について整理してほしいということによいか。

<委員>

このP26の図については意識せずに案を伺っていた。今回の案は拡がりが出てきてはいるが、文学でいえば、中原中也以外に嘉村礒多や種田山頭火なども入ってくると思う。P26は記念館のみ特化されているが、礒多や山頭火は記念館になっていなくても重要な文学者であると考えるので踏み込んでまとめてほしい。また、P26のこの図について前回自分は関わっていないため図について説明は出来ないが、同じ財団として記念館とYCAMは何度かコラボを考えたため、そこに何か創造的な活動が生まれてくることは期待している。

<専門部会長>

書き方を工夫してほしいとのことでよいか。文学者を中也のみでなく嘉村礒多や種田山頭火なども取り入れることと、コラボによって中也のコンテンツをYCAMがいかすなど、説明が足りないところもあるのでそこを入れるということによいか。

<委員>

そのとおり。P9において、帰郷庵や小郡文化資料館を入れていただいたのは、嘉村礒多も種田山頭火もだと受けとめた。それぞれの文学のジャンルの特性があるのでそれらをいかしたコラボが出来たら良いのではないかと考える。

<事務局>

P9の「研究と創造」の「創造」の部分だが、これまでも中也の詩を活用して、文化団体等が講演をするなど創造活動をされてきた。中也の詩を発展させて、市民が新しい世界を生み出していくという意味を込めての創造。また、専門部会において、融合というキーワードを出していただき、中也や雪舟などもどこかにつながって新しい世界を生み出すという意見もあったため、それらを踏まえての創造と捉えていただきたい。加えて、今回まとめているプロジェクト事業については、専門部会の意見を基に作成したものであるため、重点プロジェクトとしてさらに絞ったものをご提示させていただくため、これは是非というものがあればおっしゃっていただきたい。

<委員>

委員の市民会館の建替えの話は、議論では全く出てこなかったが、そのようなことも含める余地があると考えてよろしいのか。

<事務局>

専門部会で検討いただいた内容と、懇話会でいただいた意見等を踏まえて、案としてお示ししていきたいと考える。

<会長>

施設整備の話と活動の話は両方登場することに間違いないが、どの程度施設建設の話が書けるかは別問題であると思う。

<委員>

施設の話は既に盛り込まれているが、どれだけ肉付けするか。メッセという言葉が出てきていないため、それを盛り込むことも出来るかと。

<会長>

文化活動といっても、市民活動から芸術家といった専門家の活動まで幅広い。いろいろと御意見があるかと思う。事務局に伝えていただけたらと思う。最後に、その他について事務局からお願いする。

	<p>8 その他        &lt;事務局&gt;        次回第3回懇話会は、7月下旬に開催し中間案をお示し、第4回については9月下旬から10月初旬に開催を予定しており、最終案をお示しできればと考えている。        以上で会議を終了した。</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回文化振興ビジョン検討懇話会次第</li> <li>・山口市文化振興ビジョン検討懇話会委員名簿</li> <li>・資料1： 上位計画 第2次山口市総合計画</li> <li>・資料2： (仮称)第二次山口市文化振興ビジョン骨子素案</li> <li>・資料3： 山口市文化振興ビジョン検討懇話会専門部会について</li> <li>・参考資料：山口市まちづくりアンケート調査結果（前回質問に対する回答）</li> </ul>
<p>問い合わせ先</p>	<p>交流創造部 文化交流課        TEL 083-934-2717</p>